

石川自治センター だより



第151号

発行所：石川自治センター
発行者：石川自治センター長 矢内陽介
〒963-7859
石川町字南町 36
Tel 26-1554 (FAX 同)

祝 敬老 石川地区敬老会記念品贈呈



石川地区敬老会(実行委員長 荒川昭男)は、敬老会式典、祝宴等は昨年に続き中止となった。8日午後から自治センターで記念品袋詰めが行われ、1013名(9月7日現在)の対象者へ祝賀状と記念品を、75歳と88歳到達者特別祝金、金婚表彰も合わせて20日敬老の日までに民生児童委員及び行政区長にお世話になり、対象者又は、家族の方へおむね手渡す事が出来た。一部の対象者の方からは、「同級生の安否確認の為名簿が欲しかった。」と報告があり、個人情報保護により配布しない事を説明し、ご理解をいただいた。

石川地区自治協議会設立意見交換会



2日モトガッコにおいて、石川地区自治協議会設立意見交換会が役場企画商工課(佐藤康博課長)の呼びかけで行われた。行政区長企画商工課、石川自治センター17名が参加した。意見交換の前に5地区の自治協議会の現状と課題について緑川係長より説明があった。自治協議会設立により良かった点は、各協議会とも地域や団体の問題を共有し改善へ向けての協議、実行が出来るようになった。

設立以前は自治センター事業を行う上で、行政区長の協力なしでは出来ないことがあり、行政区長の負担が大きかった。自治協議会を設立してからは、「一部会」に任せることが出来るようになった。地域活性化をみんなで考え、協力して行えるようになった。町への要望、陳情が、行政区単位で行っていたが、区長会と自治協議会連名で行うことが出来るようになった。各種団体の事業が共有化され、事業のスリム化が図られ、予算の有効利用ができ、新事業の企画立案がスムーズに行うことが出来た。

自治協議会を設立して良かったら、少子高齢化、人口減少が進む中、地域コミュニティの衰退が加速する。部会活動により、地域の問題把握や解決が共有化された。事業のマンネリ化から新規事業が進んでいる。(自治センター聞き取り一部抜粋)説明があった。又、石川地区の一人暮らし世帯の状況、自治協議会組織づくりについて説明した。

この後、各地域の問題や状況を踏まえ意見交換が行われ、石川地区においても、地区により人口減少、高齢化等の理由で住民参加が難しい。一人暮らし高齢者の見守り等は優先課題だが区に入っていない住民への対応は、組織については石川モデルで対応することなど進歩的な意見交換が行われた。次回10月7日モトガッコで行われる。

利用者の皆様へ 自治センター使用料を改定します

令和3年10月1日(金)から、自治センターの使用料を下記のとおり改定します。利用者の皆様のご理解をお願いいたします。

	改定後	改定前
ストーブ使用料	1時間当たり110円	1時間当たり100円
エアコン使用料	1時間当たり110円	1時間当たり100円

まちなか朝市台風14号で2回目の中止



9/25の朝市開店前の様子

まちなか朝市(山田達也会長)は、18日開催予定の朝市を台風14号の暴風雨予報によりお客様の安全等を優先し16日中止を決定した。秋のお彼岸を迎える準備等もあつたが、やむなく開催中止とした。令和元年10月12日以来2回目の中止となった。木曜日の旗立てを問わず、金曜日に町民ニュース、夕刊いしかわに中止案内の記事を依頼したが、朝市に来店した方もおり、大変申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。25日は、開店前から多くのお客様で賑わい、いつもの朝市となった。ありがとう(ごい

生涯学習教室活動再開へ

矢内先生の指導の下、始まった。籐(今回は、丸芯と平籐使用)は、乾いている状態では、硬いので水に浸し柔らかくしてから編みはじめます。丸芯を縦に平籐横に素編みでかご造りを行った。編み目を揃えることに苦労しながらも約2時間で完成した。花かごは、文化祭で展示されます。

レイディース新田(鈴木京子委員長)は、2日今年度の学習会を新田ふれあいセンターで18名が参加した。講師に、まちなか工房籐手芸教室矢内文子先生を招き、籐で花かご編みを行った。



ました。



ホールインワン達成
佐藤さんと秋山さん

レイディースきたす(竹島君委員長)は、16日町民グラウンドで、第2戦のグラウンドゴルフをナイターで11名が参加して行った。健康増進を目的に行っているが、コロナ禍で参加人数が少ないが、参加者は、伸び伸びと笑顔で楽しく競技を行っていた。天候にも恵まれ、2組に別れ8ホール2ラウンドを行った。ホールインワンも、ショートホールで秋山さんと佐藤さんが同組で記録し好スコアが期待された。順位は、10月に行われる第3戦で決定される。



た。三本木先生から良く出来ましたとお褒めの言葉を頂いた。ありがとうございました。

新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は、16日新田ふれあいセンターで、2ヶ月振りのものづくり学習会を行った。20名(女性14名男性6名)が参加し、まちなか工房粘土教室三本木美智子先生を講師に招き、樹脂粘土で、マグネツトに草花や樹木、カタツムリ他5個、フック2個を制作した。学級生は、粘土のものづくりは、2回目です。先生の指導を受け工夫を凝らした力作が仕上がりました。

新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は、16日新田ふれあいセンターで、2ヶ月振りのものづくり学習会を行った。20名(女性14名男性6名)が参加し、まちなか工房粘土教室三本木美智子先生を講師に招き、樹脂粘土で、マグネツトに草花や樹木、カタツムリ他5個、フック2個を制作した。学級生は、粘土のものづくりは、2回目です。先生の指導を受け工夫を凝らした力作が仕上がりました。

10月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行 事 予 定	備 考
7	木	地域自治協議会設立意見交換会 18:30 レディース猫啼学習会 19:00	モトガッコ 西田屋
14	木	レディース猫啼学習会 19:00	西田屋
19	火	石川寿大学学習会 9:30	石川自治センター
21	木	新田寿健康大学学習会 9:30 レディース猫啼学習会 19:00	新田ふれあい 西田屋
23	土	地域防災マップ説明会 18:00	石川自治センター

毎週土曜日まちなか朝市 10/2, 9, 16, 23, 30 朝7時～
*台風等で開催中止の場合もあります。ご理解下さい。



お花でおもてなし!

玄関の花が替わりました。トランペットの鉢植えと鶏頭のプランター。

